



茨城県水戸市で9月開かれた全国中学生ラグビー女子7人制大会（日本ラグビー協会主催）にU-15九州選抜チームの一員として出場し、準優勝した島原市立第二中2年の沖野真妃さん（14）が4日、市役所を訪れ、横田修一郎市長に報告した。

沖野さんは小学4年から島原ラグビースクールに所属。月2回、福岡レディースクラブの練習にも参加し、技術を磨いている。ポジションはCTBで、足の速さと鋭いタックルが持ち味。県内から唯一、U-15九州選抜に選ばれ、全国大会では決勝で関東選抜に惜敗した。

女子ラグビーは2016年のリオデジャネイロ五輪から種目として採用され、沖野さんは九州地区の五輪強化選手にも選ばれている。横田市長は「準優勝おめでとう。今後も期待しています」と健闘をたたえ、沖野さんは「キックやパスの技術を磨いて、将来はオリンピックに出たい」と抱負を語った。（松本文泰）。